

日本声楽発声学会

第 112 回 例会

第 59 回 総会

令和 5 年 (2023 年) 6 月 4 日 (日)

9 : 5 5 ~ 1 6 : 3 0 (受付 9 : 3 0 より)

東京藝術大学音楽学部

大講義室 (5-109) ・第 6 ホール

(JR 上野駅公園口より徒歩 10 分)

(お願い)

- ① 携帯電話等音の出るものは電源をお切りください。
- ② 録音、録画、写真撮影は固くお断りいたします。

(なお、本学会では記録用として録音録画はしますが、それ以外は個人のプライバシー保護のため、厳禁いたします。違反の場合は機材等を学会でお預かりすることがあります。)

日本声楽発声学会 第 112 回例会プログラム

総合司会

副会長 佐々木 正利

開会挨拶 9:55 ~ 10:00

会長 川上 勝功

A 研究発表 10:00 ~ 12:15 (5-109 大講義室)

司会 副会長 齊藤 祐

1) 10:00 ~ 10:30

発表者：川上 勝功 Kawakami Masanori

テーマ：発声の基本は ”It is easy”, ”It is simple” !!

略 歴：声楽家、日本声楽発声学会会長。

2) 10:35 ~ 11:05

発表者：小森 輝彦 Komori Teruhiko

テーマ：「歌唱発音の勧め」

略 歴：東京音楽大学教授、声楽家、日本声楽発声学会理事。

3) 11:05 ~ 11:15

質疑応答

～・～

第 59 回総会 11:15 ~ 12:00

～・～

昼 食 12:00 ~ 13:00

B. 特別講演 13:00 ~ 15:00 5-109 大講義室 (予定)

司会 川上 勝功

演題: 舌の変形による声道形状と共鳴の制御

講師: 竹本 浩典

講演概要: 舌は会話や歌唱, 咀嚼や嚥下などで多用しているにもかかわらず, どのような形状をしており, どのような原理で運動しているかを意識することはない。これは, 舌が体内にあり, その形や動きを直接的に観測する機会が少ないからである。舌は長く扁平であると誤解されがちであるが, 前後方向の口腔と上下方向の咽頭に内接するため, 短く丸い形状をしている。そして, 内部には骨格がなく, 複雑な筋肉と厚い腱膜が粘膜で覆われた組織である。このような組織は筋静水圧系と呼ばれ, その変形は, 筋線維が収縮して長軸方向には短縮しても横断方向には膨張するという原理に基づいて考察する必要がある。舌の中で最も大きな筋肉はオトガイ舌筋であり, 下顎骨の内面の下方にあるオトガイ棘から正中面付近の舌の長軸に向かって扇形に走行している。

例えば/a/の口の構えでは, 口が開いて舌は後下方に引かれるとともにオトガイ舌筋の前部が収縮して後方に膨張するため, 咽頭は狭まり, 口腔は広がる。そのため, 声門から口唇までの空間である声道は, 声門側で狭くなり, 口唇側で広がる。この声道形状では, 第1フォルマントが上昇し, 第2フォルマントが下降して/a/特有のスペクトルとなる。逆に/i/の口の構えでは, 口が閉じてオトガイ舌筋の後部が収縮して前上方に膨張するため, 咽頭は広まり, 口腔は狭まる。そのため, 声道は声門側で広くなり, 口唇側で狭くなる。この声道形状では, 第1フォルマントが下降し, 第2フォルマントが上昇して/i/特有のスペクトルとなる。

このように, 舌を変形させて声道形状とその共鳴特性を制御することで, 異なる母音を生成する。すなわち, 舌の変形は音韻性を生成する。一方, 舌より下方に位置するため, 舌の変形による空間形状の変化が小さい咽頭下部や喉頭は, 歌唱フォルマントなどの母音によらず知覚できる定常的な響きを生成する。本講演では, 舌変形のメカニズムとそれによる声道形状や共鳴の制御について, シミュレーションや声道模型を用いて解説を行う。

略歴

- 1993年3月 京都大学理学部卒業
- 2000年3月 京都大学大学院 理学研究科博士後期課程単位取得満期退学
- 2000年4月 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所 研究員
- 2000年9月 博士(理学)取得
- 2009年3月 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所 退職
- 2009年4月 独立行政法人 情報通信研究機構 研究員
- 2016年3月 同 退職
- 2016年4月 千葉工業大学先進工学部知能メディア工学科 教授(現在に至る)

C. 現役声楽家の演奏とお話 15:20 ~ 16:20 (第6ホール)

司会 佐々木 正利

講師：山本 耕平 Yamamoto Kohei 声楽 (テノール)

略歴

鳥取県出身。東京学芸大学教育学部クラリネット専修を経て東京藝術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学大学院オペラ専攻首席修了。第39回イタリア声楽コンクール第1位、第45回日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞を得て渡伊。ミラノ・ヴェルディ音楽院ビエニオコース修了。第1回武藤舞賞、第10回エネルギー音楽賞、第25回五島記念文化賞・オペラ新人賞、2015年度文化庁新進芸術家海外研修制度選抜を受けイタリア研修を重ねる。これまでの活動を評価され令和4年度鳥取文化奨励賞(第1回)受賞。キングレコードよりCD「Mi manchi」「君なんかもう」をリリース。

オペラ《ドン・カルロ》《リゴレット》《椿姫》《イドメネオ》《後宮からの逃走》《天国と地獄》《金閣寺》《ラ・ボエーム》《カプレーティとモンテッキ》《ヤマトタケル》等に出演。東急ジルベスターコンサート、NHKニューイヤーオペラ・コンサート、NHK-FMリサイタル・ノヴァ、BSテレ東「おんがく交差点」「辰巳琢郎の葡萄酒浪漫」フジテレビ「My Routine～太陽と星空の時間～」、コンサートやメディアにも出演。22年にはオペラ・イン・ウィリアムズバーグ『ラ・ボエーム』ロドルフォ役でアメリカデビュー、本年は山形交響楽団『ラ・ボエーム』ロドルフォ役、東京二期会『平和の日』ピエモンテ人役、『椿姫』アルフレード役、『午後の曳航』登役、日本・ベトナム外交関係樹立50周年記念オペラ『アニオー姫』荒木宗太郎役とオペラで活躍。

音声プラットフォーム「Voicy」パーソナリティ。米子首都圏観光大使、とっとりふるさと大使。東京二期会会員。

演奏曲目 (プログラムは当日受付でお配りいたします)

- ・モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』より“恋人を慰めて”
W.A.Mozart <Don Giovanni> “Il mio tesoro intanto”
- ・ヴェルディ『リゴレット』より“女心の歌”
G.Verdi <Rigoletto> “La donna è mobile”
- ・グノー『ファウスト』より“清らかな住まい”
C.Gounod <Faust> “Salut! demeure chaste et pure”
- ・ヘンツェ『午後の曳航』より“モノローグ”
H.W.Henze <Das verratene Meer> “Monolog”
- ・泉谷閑示「うつくしいもの」
- ・他、間に例として他の曲の一部を引用演奏したりする予定

ピアニスト：中ノ森めぐみ Megumi Nakanomori

略歴

鳥取県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。2009年よりイタリアに留学し、国立ミラノ・ヴェルディ音楽院に学ぶ。在学中に学内の室内楽コンクールで優勝し、奨学金を授与される。

2012年サクソフォン奏者アンドレア・モッチ氏(国立キャリア音楽院講師)とデュオ・ヴァーグを結成。ベッラージョ室内楽コンクール、カマイオーレ室内楽コンクールで優勝し、イタリア各地にてリサイタル、音楽フェスティバルに出演。Odradek Recordsから同氏とのデュオ・アルバム「レジェンド」をリリース。

2013年から2年間スカラ座アカデミーの室内アンサンブルでピアニストを務め、イタリア国内外で多くの公演に出演。2014年スカラ座で行われたパリ・モスクワ・ミラノのアカデミー合同バレエ公演では、バッハのクラヴィーア協奏曲第1番のソリストを務める。この公演を中心としたドキュメンタリー「中ノ森めぐみ-バスに懂れて-」が、イタリアのスカイクラシックチャンネルで放送され好評を博す。ソリストとしては、2015年スピネア市国際音楽コンクール、コルテミリア市国際音楽コンクール(イタリア)で優勝。ミラノとボローニャにおいてソロリサイタルを開催。

2016年から拠点を東京に移し、日伊国交150周年イベント、アルメニア音楽祭などに出演。2017年鳥根県安来市に新設された総合文化ホールのピアノ選定者を務め、スタインウェイピアノ開きコンサートを開催。近年は声楽伴奏の分野にも活動の場を広げている。

閉会の挨拶

副会長 齊藤 祐

■「例会参加」及び「当日の昼食弁当」の申込みについて ■

お問合せ先

日本声楽発声学会事務局（佐々木 徹）

E-mail：info@jars-voice.org

Tel/Fax：03-6804-0626

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 3-14-4

【例会参加について】

- 正会員・学生会員は参加費不要です。 ※年会費納入のご確認をお願いいたします。
- 臨時会員は参加費 6,000 円を、下記の郵便振替口座に 5月20日（土） までに納入ください。
大学院生以下 3,000 円 *当日、学生証をご提示ください。
- ・振込先：郵便振替口座 00170-0-119920 加入者名：日本声楽発声学会
- ・振込の通信欄に『6月4日例会参加費』、所属・紹介者・住所・氏名をご記入ください。
- ・当日、臨時会員の方は参加費納入確認のため、振込受領書または振込明細をご持参ください。
- ・当日の参加受付も可能です。 ※資料準備の都合上、事前のお申込みをお願いしております。

【昼食弁当について】

- ・価格：1,000 円（税込）
- ・申込み期日：5月20日（土） ※事前申込のみ可能です。当日の申込は出来ません。
会員は、上記事務局へ、FAX, E-Mail, 葉書でお申込み下さい。電話はご遠慮ください。
臨時会員は、例会参加の際の『振込取扱票』通信欄に、『弁当希望』と明記してください。
- ・支払い方法
会員、臨時会員共に、当日、受付で 1000 円をお支払い頂き、引換券をお受け取りください。
- ・受取り方法 上記引換券を藝大・美術学部内食堂『藝大食楽部』に持参し、昼食弁当（お茶付）とお引換えください。
- ・『藝大食楽部』でお召し上がりになれます。
- ・当日ご欠席の場合は後日お振込みいただきます。